



## ●ご挨拶

公益財団法人 名古屋産業振興公社  
理事長 安井 孝治

あけましておめでとうございます。  
皆様には健やかに新春をお迎えのこと  
とお喜び申し上げます。

旧年中は、私ども名古屋産業振興公社の事業運営に格別のご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も引き続きよろしくご願ひ申し上げます。

さて、我が国の経済は、経済対策「アベノミクス」の推進によって円安、株高が進み、輸出型大企業を中心に業績が著しく回復するなど、緩やかな景気の回復基調が続いておりましたが、昨年4月の消費税増税後の回復が思ったより弱く、急激な円安の進行による原材料費等の高騰など、中小企業の皆様にとりましては厳しい状況が続いております。

今後、アベノミクスの継続実施によって、物価上昇を上回る賃金上昇、消費の拡大、企業の雇用や設備投資の増につながり、景気回復が確かなものになるよう期待しております。

今年は、当地域から日本の社会、経済に大きなインパクトをあたえるプロジェクトの事業化がいよいよ動き出す年でもあります。昨年12月のトヨタ自動車による世界初の燃料電池車「ミライ」の販売、JR東海によるリニア中央新幹線の着工、今春に予定されている三菱航空機の国産小型旅客機「MRJ」の試験飛行、いずれも当地域の高い技術力を有する厚い産業集積を背景に、最先端技術の粋を集めた「次世代モビリティ」の進化につながるものであり、また、リニア開業を見据えた名古屋駅再開発事業は、今後の名古屋の街づくりに大きな影響を与えるものであります。

当公社といたしましても、経営や創

業、研究開発、モノづくり・人材育成、販路開拓など、中小企業の皆様のお役に立つ事業を展開し、名古屋市の外郭団体として、産業界、大学、関係機関団体等の連携・協力を一層深め、当地域のより一層の産業振興に努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度は、旧名古屋市工業技術振興協会と旧名古屋市都市産業振興公社が、公益法人改革の流れの中、団体統合した平成22年9月から数えて5年を迎える年でもあります。

統合の効果をより一層確かなものにするため、六番町の工業技術振興部で実施している異業種交流、技術者研修、講演会・セミナー、見学会、工業技術グランプリなど、モノづくり中小企業の技術支援を中心とした事業を名古屋市工業研究所と一体となって推進するとともに、志段味の研究推進部、吹上の展示会事業部との連携事業を検討してまいります。具体的には、本年11月に中小企業振興会館で開催する「次世代ものづくり基盤技術産業展・TECH Biz EXPO 2015」において、賛助員企業の皆様の出展コーナーの設置やビジネス商談会の開催により、モノづくり企業である賛助員の皆様の優れた技術力、製品力を情報発信する場を提供することや、志段味のプラズマ技術産業応用センターの機器利用など、相乗効果をもたらす事業を展開していきたいと考えております。

是非ともご活用をお願いしたいと思います。

最後に、今年一年が、皆様の企業、団体にとりまして、更なる飛躍・発展の年となりますようご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。